

33

環境を整えたい！

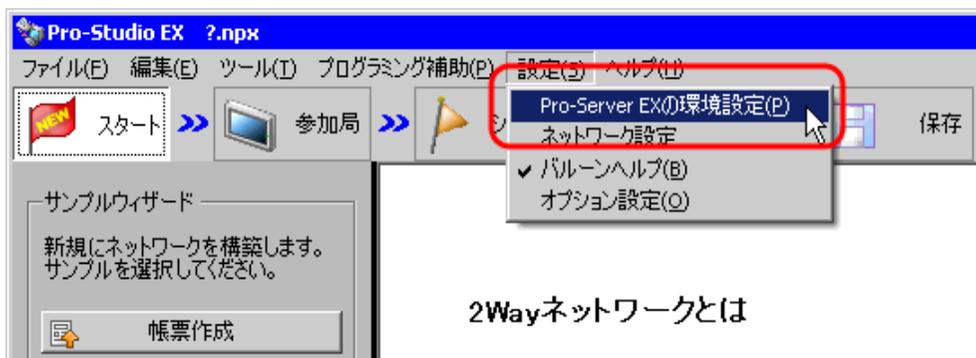
33.1 『Pro-Server EX』の環境設定.....	33-2
33.2 ネットワーク設定	33-4

33.1 『Pro-Server EX』の環境設定

『Pro-Server EX』の環境設定を行います。

- MEMO** ・ 『『Pro-Server EX』の環境設定』の有効範囲は、“パソコンごと”になります。
たとえば、A パソコンにて X ネットワークプロジェクトファイルで設定した環境設定は、以後 A パソコンで作成／編集する別の Y ネットワークプロジェクトファイルにも反映されます。

- 1 スタート画面の [設定] から、[Pro-Server EX の環境設定] をクリックします。



- 2 「Pro-Server EX の環境設定」画面の各項目を設定します。



- MEMO** ・ 『『Pro-Server EX』の環境設定』変更は、次回の『Pro-Server EX』起動時から有効になります。

設定項目	設定内容
Pro-Server EX をサービスとして起動する	パソコン起動と同時に『Pro-Server EX』を起動します。(サービスモード) ☞「第 29 章 Pro-Server EX をサービスとして起動したい！」
Pro-Server 起動時、自動でネットワークプロジェクトをロードする	『Pro-Server EX』起動時に、ネットワークプロジェクトファイルを自動でロードします。 [参照] ボタンをクリックし、「ファイルを開く」画面でパソコン内のネットワークプロジェクトファイルを選択します。 MEMO <ul style="list-style-type: none"> システムの運用時など、『Pro-Server EX』を稼働させる場合に設定しておくことで便利です。 あらかじめネットワークプロジェクトファイルを指定しておくことで、『Pro-Studio EX』を起動させて『Pro-Server EX』にロードする手間を省きます。
タスクトレイに Pro-Server アイコンを表示する	チェックを外すと、『Pro-Server EX』のタスクトレイアイコンを表示しません。 MEMO <ul style="list-style-type: none"> 第三者に勝手に設定などを変更されたくない場合にご使用ください。 非表示の状態から Pro-Server アイコンを表示させるには、Windows の [スタート] メニュー → [すべてのプログラム (OS によっては「プログラム」)] → [Pro-face] → [Pro-Server EX] から [Pro-Server EX 環境設定] を選択してください。 非表示の状態から『Pro-Server EX』を終了させるには、『Pro-Studio EX』の状況監視画面から終了させるか、もしくは Windows の [スタート] メニュー → [すべてのプログラム (OS によっては「プログラム」)] → [Pro-face] → [Pro-Server EX] から [Pro-Server EX の終了] を選択してください。
DDE ポーリング周期	DDE アクセス時のポーリング周期を入力します。初期値は 1000ms (1 秒) です。 ☞「27.6 Excel グラフで監視したい！」
アクションの登録	ユーザー作成のアクションを、『Pro-Server EX』に登録します。 「ファイルを開く」画面が表示されますので、新しく登録するアクションのファイル名を指定します。

33.2 ネットワーク設定

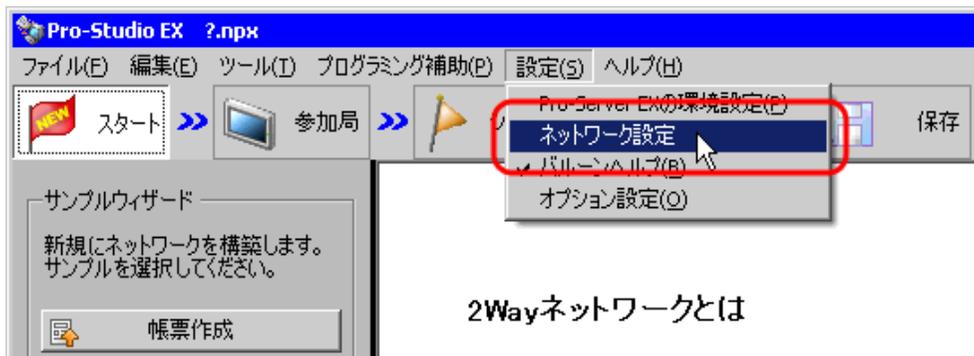
『Pro-Server EX』のネットワーク設定を行います。

設定は、GP シリーズ局と Pro-Server EX / GP3000 / WinGP 局で異なります。

MEMO

- 「ネットワーク設定」はネットワークプロジェクトファイル内に保存されます。複数のネットワークプロジェクトを1台のパソコンで切り替えて使う場合は、それぞれに設定する必要があります。

1 スタート画面の「設定」から、「ネットワーク設定」をクリックします。



2 「ネットワークの設定」画面の各項目を設定します。



設定項目	設定内容
プロジェクト ID	プロジェクトを作成した日時が表示されます。
制御ポート番号	<p>TCP および UDP のポート番号を設定します。 『Pro-Server EX』は、ここで設定されたポート番号から 10 個分のポートを使用します。</p> <p>MEMO</p> <ul style="list-style-type: none"> 『Pro-Server EX』と他のアプリケーションソフトのポート番号が重複する場合は、設定を変えてください。 変更した場合は、GP のポート番号も同じ値に変更する必要があります。
ネットワーク全体のリモートパスワード	<p>リモート接続時に入力するパスワードを設定します。</p> <p>☞「22.1.1 リモート接続したい」</p>
各局用の設定	<p>「Pro-Server EX / GP3000 / WinGP 局」には「GP シリーズ局」に実装されている 2Way プロトコルと、より安全で高速に通信するためにバージョンアップされた 2Way プロトコルの両方が実装されています。 『Pro-Server EX』および「Pro-Server EX / GP3000 / WinGP 局」は通信する内容と相手局の種類に応じて、より効率のよいプロトコルを自動で選択しながら通信します。 そのため、『GP シリーズ局用設定』（GP シリーズ局）と『Pro-Server EX / GP3000 / WinGP 局用設定』（Pro-Server EX 局 / GP3000 シリーズ局 / WinGP 局）のように切り分けて設定する必要があります。</p>
GP シリーズ局用設定	<p>GP シリーズ局のネットワーク設定を行う場合、「GP シリーズ局用設定」画面が表示されます。 詳細は「■「GP シリーズ局用設定」画面」をご覧ください。</p>
Pro-Server EX / GP3000 / WinGP 局用設定	<p>Pro-Server EX / GP3000 / WinGP 局のネットワーク設定を行う場合、「Pro-Server EX / GP3000 / WinGP 局用設定」画面が表示されます。 詳細は「■「Pro-Server EX / GP3000 / WinGP 局用設定」画面」をご覧ください。</p>

■ 「GP シリーズ局用設定」 画面

設定項目		設定内容
16ビットデバイスへの32ビットアクセス方法		連続した2つの16ビットデバイスをまとめて32ビットデバイスとしてアクセスする場合の順序を選択します。
表示設定	エラー時のブザー音	エラー発生時にブザー音を鳴らすかどうかを設定します。 MEMO ・「Pro-Server EX / GP3000 / WinGP 局」の場合は常に自動判別です。
	警告表示	GPで警告表示を行うかどうかを設定します。
キャラクター間タイムアウト		予約
コネクション異常監視タイムアウト		コネクション開設後、ここで設定した時間以内にコネクション間で通信がない場合、コネクションを切断します。(TCPでは、1つの受信局に対して1つのコネクションしか張ることができません。)

設定項目	設定内容
デバイスリードライトタイムアウト	<p>読み込みや書き込みの要求を出してから、ここで設定した時間以内にレスポンスがない場合、タイムアウトと判断します。 回線スピードとリード/ライト処理に必要な時間を含めてタイムアウト時間を調整してください。</p> <p>MEMO</p> <ul style="list-style-type: none"> ネットワーク的に混雑した環境や GP と接続機器間の通信が遅い場合、正常な場合でもタイムアウトエラーが発生することがあります。その場合は、[デバイスリードライトタイムアウト] の時間を長くしてください。ただし、あまり長いとパケットロスなど本当に通信エラーが発生した場合、それを検出するのに時間がかかります。
配信・アクションタイムアウト	<p>データ転送やアクションを実行してから、ここで設定した時間以内にレスポンスがない場合、タイムアウトと判断します。 ただし、データ転送の場合、起動条件設定ダイアログの [詳細設定] ボタンの [レスポンスチェック] および [ネットワーク設定の配信タイムアウトを利用する。] をチェックしている場合のみ有効です。</p> <p>MEMO</p> <ul style="list-style-type: none"> アクションの中には EXCEL などパソコン内のアプリケーションソフトを利用しているものがあります、アクションの種類によっては、ご利用のパソコンのパフォーマンスにより処理時間がかかる場合があります、タイムアウトになることがあります。その場合は [配信・アクションタイムアウト] の時間を長くしてください。
フレーム間タイムアウト	<p>大量のデータを交信する場合、送信側はデータを複数のパケットに分割して送信し、受信側は送られてきたパケットを順番に受信します。1つのパケットを受信してから、ここで設定した時間以内に次のパケットが受信できない場合、タイムアウトと判断します。</p>
TCP/IP タイムアウト	<p>TCP 通信では、データを送ると、それに対して「ACK」が返ってきます。「ACK」が返ってこない場合はリトライしますが、リトライ時にも「ACK」が返ってこないと、コネクションを切断します。ここで設定する時間は、データを送ってから ACK が返ってくるという動作 1 回あたりの最大待ち時間です。</p>

設定項目		設定内容
局間が低速な回線のタイムアウト時間	局	通信タイムアウト時間を設定する局間（Pro-Server EX 局、GP-3000 シリーズ局、WinGP 局）を指定します。 局間ごとに通信タイムアウト時間を設定することができます。 表示欄をクリックし、リストボックスから設定する局名を選択します。
	1 回目 2 回目以降	1 回目および 2 回目以降の通信時のタイムアウト時間を設定します。 表示欄をクリックし、設定するタイムアウト時間を入力します。 MEMO • ダイヤルアップ接続のように、ネットワークにつながる時間が初回のみかかる場合など、1 回目と 2 回目以降のタイムアウト時間を分けて設定することができます。
回線が低速な場合	リトライ回数	通信エラー時のリトライ回数を設定します。 表示欄をクリックし、設定するリトライ回数を入力します。
	無通信時切断時間	通信がない場合の切断時間を設定します。

